

広げる。

変える。

SDGsが
“自分事”に
なる。

わたしと社会のつながりを知る

教育用！SDGsゲーム

社会の構造や経済からSDGsをつかむ。

すでに多くの学校で「総合的な学習の時間」や「探究活動」でSDGsをテーマに取り組みられています。テーマが広く奥深い故に、調べ学習に多くの時間が割かれてしまい、学びの深掘りができないなど、課題も多いとの声も聞かれます。まず、一定のルールや設定のもとでSDGsの考え方を生徒に体験、実感させることで、その後の探究活動が広がることを目指したゲーム教材です。

SDGsの17ゴールに通じる考え方が学べる。

【教育用！SDGsゲーム】では、多くの職業や立場の人が社会に関わっていることがゲームを通じてわかるようになっています。そこから自分本位の考え方や行動では、社会は変わらないことまで段階を追って理解できるので、SDGsが掲げる17ゴールすべてに通じるベーシックな考え方として、その後の探究活動の導入としてご活用いただけます。

段階的に視野を広げる。

だから、自ら考えることができる。



サプライチェーン(生産・配送・販売・消費+ごみ処理)の工程の中でいろいろな立場の人がそれぞれどのような視点で行動すれば、社会全体が良い方向に進んでいくかをゲームを通じて考えることができます。

利己的な考え方では自分は良くても、ほかの立場の人の状況や、中長期的には社会全体が悪くなることや、結果として自らにも悪い状況になる可能性があることを段階的に体験することで生徒の理解を促します。

また、立場を越えて、第三者目線・予期せぬ出来事によって、自分の考え方や取るべき行動が変わることも学ぶことで、社会・世界で起きていることはすべて相互に影響し合っており、逆に我々一人一人の考え方や取る行動が社会・世界を変える力があることを知ります。

「自分だけの視点」から始め、3ステップで世界のために自ら考える力を養います。

STEP
1

やっぱり自分の利益が大事!
利己的に考える

社会の 仕組みを知る

初回の授業では、あえて利己的視点(自分本位の考え)でゲームを動かす中で、自分が暮らす社会の構造や経済の基礎を理解します。

STEP
2

社会や環境に良い判断を!
利他的に考える

持続可能の 意味を知る

2回目の授業では、利他的視点(他者の利益にも配慮した考え)でゲームに参加。理解を促す[アイデアカード]をもとに解決策を考え、その理由を発表します。

STEP
3

自分に何ができるんだろう?
主体的に考える

自分で考え 発表する

3回目には、紛争や不景気などの「ハプニングカード」が登場。予期せぬ出来事に対して、求められる行動や判断を考え、アウトプット。自ら考え行動する力を育みます。

ボードゲームを通じて、将来まで生きる深い学びを!

「世の中の動きや
自然環境は、決して
自分と無関係ではない」
と気づけます。

社会構造やステークホルダーの存在を知る。 経営者、労働者、投資家、消費者、
行政機関、教育機関、医療機関 etc.

自分本位の行動ばかりでは、社会が悪い方向に進んでしまうリスクがある。

自分とは無関係に思える環境問題や社会問題にも関わっているかもしれない。

それぞれの立場を理解できれば、持続可能な社会に近づける。

製造・販売元

子ども未来キャリア
株式会社イー・ラーニング研究所

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-38 F&Mビル6F
TEL:06-6339-4177 FAX:06-6339-4180

子ども未来キャリア



販売代理店